

国語科学習指導案

三次市立八幡小学校 大澤 八千枝

- 1 日時 6月20日(火)5校時
- 2 学年 第5学年 5名
- 3 単元名 「説明文解説書」をつくろう
教材「動物の体」 (東京書籍)

- 第6学年 5名
どっちの「なぜ?なぜ?」ショー
～分かりやすい説明文とは～
教材「イースター島にはなぜ森林がないのか」
「マンモス絶滅のなぞ」 (東京書籍)

4 単元について

(1) 言語能力に関する児童実態

4月に実施した学力到達度検査の結果では全領域において概ねできている。しかし、国語科への関心・意欲は高いとはいえず、それは日ごろの学習の様子からもうかがえる。また、自分の思いや考えをもち、筋道立てて話したり豊かに表現したりすることに課題がある。そこで、まず話す力をつけるために、「新聞切り抜きニュース」や「フリートーク」に取り組んでいる。

「説明的な文章を読むこと」についての実態

- ・ 「説明的な文章の理解」に関するプレテストの結果から、未習の文章を理解する力はある程度付いているが、文章の構成を考えたり要旨をとらえたりすることに課題があることが分かった。
- ・ 「自分の考えをもち」に関するプレテストでは、筆者の主張や表現の工夫に対して自分の考えをもち、記述することができた児童が見られたが、その内容は「賛成です。」「いいと思います。』というものであった。文章構成に対して自分の考えをもちことができる児童はいなかった。

(2) 単元設定の理由

本単元は、文章の仕組みに注意しながら内容を理解し、要旨をとらえるとともに、主張や文章構成、表現の工夫に対して自分の考えをもちさせることをねらいとした単元である。

教材文「動物の体」は、動物たちが地球上のどこにでも生きているという事実を話題にし、それらは、体形、体格、毛皮、体の内部までも環境に適応させて生命保持しているという動物の体に対する筆者の驚きと感動を述べた文章である。構成としては、序論・本論・結論という典型的な構成となっており、児童にもとらえやすいと考える。また、暑いところに住む動物と寒いところに住む動物が対比され、児童の興味を引く。

(1) 言語能力に関する児童実態

4月に実施した学力到達度検査の結果は、全領域において概ねできている。また、個人差はあるものの全領域において確実に力をつけており、全員が自分の考えを工夫してわかりやすく話す力もつけてきている。

学習に意欲的に取り組む児童が多い。

「説明的な文章を読むこと」についての実態

- ・ 「説明的な文章の理解」に関するプレテストの結果から、文章の内容を理解する力はあるといえるが、個人差があることが明らかになった。
- ・ 「自分の考えをもち」に関するプレテストでは、全員が筆者の主張や文章構成に対して、ある程度自分の考えを記述することができていた。

この6学年の児童は、昨年度担当した5学年時において、「評価読み」の視点に沿い、自分の考えをもちながら説明文を読む学習を行っている。その成果が現われたものだととらえている。

このような実態から、単なる読み取りではなく発展的・選択的な学習や、自分の考えをわかりやすく説明し合い、さらに考えを深めていけるような学習展開を工夫する必要がある。

(2) 単元設定の理由

本単元は、6学年の児童が興味を示すであろう「イースター島の森林がなぜ失われてしまったのか。」「マンモスがなぜ絶滅してしまったのだろうか。」を解き明かした二教材で、そのなぞが納得できる書き方かどうか自分の考えを明確にしながらかみ進めることをねらいとした単元である。

二つの教材は、歴史的な事実と現代社会の問題が重なっているところに共通点があり、大きな原因を二点挙げて論を進めている点でも類似している。

児童に、自分がわかりやすいと考える説明文を選択させ、原因、文章構成、表現の工夫、説明の仕方について自分の考えをもちせ、お互いに説明しあう活動をさせることで考えを深めていけると考える。

しかし、「すぐれた毛皮」としての説明やゾウとキリンの事例の挙げ方については考える余地がある。

5 学年の児童にとって、本単元が最初の「評価読み」となる。児童の実態と合わせて考えると、段階的な指導が必要である。また、国語科への意欲につながるよう、自分なりの「説明文解説書」を作り上げさせ、成就感を高めたい。

これらの活動は、「ことばの教育」の、読んだことを確実に理解する力、筋道を立てて考え論理的に表現する力の育成につながっている。

(3) 授業改善の視点

つけたい力

筆者の主張や文章の構成、表現の工夫をとらえる力。
筆者の主張や文章の構成、表現の工夫に対して、自分の考えをもち話したり書いたりする力。

「ことばの力」との関連

技能の習得

聞いたり、読んだりしたことを確実に理解する。

能力の開発

筋道を立てて考え、論理的に表現する。

そのための手立て

単元のキーポイント

内容を正確に理解させるための工夫点
・「解説書の目次」をつくるという目的をもって、筆者の主張・文章構成・段落の要点を読み取らせる。
「評価読み」のための工夫点
・「分かりにくいところ」や具体例の挙げ方について説明を加えたり、自分の考えを書き加えたりして解説書を作らせる。

児童にとらえさせたい点

結論が題名や序論と正確に対応している。
四つの本文が内容ごとに整理されていて分かりやすい。
段落のゾウとキリンの例・・・どちらも暖かい地方に住む動物である。なぜ「寒い地方に住む、体が丸っこい」野生の動物を出さなかったのか。
「ラクダ」と対応した寒い地域の動物の説明がないのはなぜか。

「イースター島にはなぜ森林がないのか」では、ラットの説明の仕方や人口増加による自然破壊について考えさせたい。また、「マンモス絶滅のなぞ」では地球温暖化説の説明部分や筆者の主張部分について分かりにくい表現があり、児童なりの考えをもたせたい。

これらの活動は「ことばの教育」の、読んだことを確実に理解する力、筋道を立てて考え論理的に表現する力の育成につながっている。

(3) 授業改善の視点

つけたい力

筆者の主張や文章の構成、表現の工夫に対して、自分の考えをもち話したり書いたりする力。
説得力のある説明文にするために、調べたことを説明文に書き加える力。

「ことばの力」との関連

技能の習得

聞いたり、読んだりしたことを確実に理解する。

能力の開発

筋道を立てて考え、論理的に表現する。

そのための手立て

単元のキーポイント

内容を理解させ「評価読み」させるための工夫点
・二つの説明文で、「なぜ～」「なぞ」が納得できるか考え、おすすめポイントとして自分の考えをもたせる。
・さらに分かりやすくするために、資料から分かることを説明文に書き加えさせる。
・筆者の主張を切り取った文章を配布し、論理展開から筆者の主張を考えさせ、より説得力のある説明文はどちらか自分の考えをもたせる。

児童にとらえさせたい点

「イースター島にはなぜ森林がないのか」
様々な事例から森林喪失に迫っていて分かりやすい。
ラットの説明の仕方が分かりにくい。
「マンモス絶滅のなぞ」
説明不足の段落がある。
結論と本論のつながりが曖昧である。

5 単元の目標

「動物の体」解説書を作ることに興味をもち、自分の考えをもって説明文を読み深めようとする。

(国語への関心・意欲・態度)

目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる。

(学習指導要領内容項目Cイ)

書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

(学習指導要領内容項目Cエ)

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。

(学習指導要領内容項目言語事項オ(ア))

5 単元の目標

二つの説明文について、分かりやすい点分かりにくい点はどこかという視点で読み比べようとする。

(国語への関心・意欲・態度)

書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

(学習指導要領内容項目Cエ)

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。

(学習指導要領内容項目言語事項オ(ア))

6 単元の評価規準

(5学年)

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
「動物の体・説明文解説書」を作ることに興味をもち、自分の考えをもって説明文を読み深めようとしている。	筆者の主張や文章構成、要旨を読み取っている。 筆者の主張や述べ方に対して自分の考えをもちながら読んでいる。	事例を扱った段落を中心に構成してあることに気付き、文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。

(6学年)

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
二つの説明文について、分かりやすい点分かりにくい点はどこかという視点で読み、筆者の考えや書きぶりに対して自分の考えを明らかにしながら学習を進めようとしている。	文章の内容を的確に押さえ、筆者の意見や述べ方に対して自分の考えをもちながら読んでいる。	自分の考えを明確に表現するためのさまざまな段落の組み立てを理解している。

7 5学年指導計画（全10時間扱い）

次	学 習 内 容	評 価				
		関 意	読 む	言 語	評価規準	評価方法
一 次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の体について知っていることを出し合う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「動物の体・説明文解説書」を作って、来年の5年生に参考にしてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「動物の体・説明文解説書」を作ろうという学習計画を立てる。 				<ul style="list-style-type: none"> 説明文の分かりやすいところ、分かりにくいところに視点を当てて読んでいこうと意欲的に発言している。 	観察 発言
二 次 (6)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>「動物の体」を読んで、まず目次をつくろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 説明文の内容を第一章序論、第二章本論、第三章結論に分け、本論の内容の要点を考える。 要旨をまとめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 環境に適応して生きる動物たち 動物の体形と気候との関係 動物の体格と気候との関係 動物の毛皮と気候との関係 動物の体内の仕組みと自然環境 動物の体は自然が作った最高の傑作 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>「動物の体」の分かりやすいところ、分かりにくいところのポイントをまとめて、解説書を書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの段落で、取上げられている事実・具体例・理由を読み取り、分かりやすいか、分かりにくいかという視点で自分の考えを交流する。 文章構成、表現の工夫に対して分かりやすいか、分かりにくいかという視点で自分の考えを交流する。 本時5/6 				<ul style="list-style-type: none"> 文章構成、筆者の主張、段落の要点を読み取っている。 文章をまとめて要旨を書いている。 	ワー クシ ート 発 言
三 次 (3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>「動物の体」に対する自分の考えをまとめて、解説書を完成させよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「あとがき」として、筆者の主張や書き方に対して自分の考えをまとめて書く。 				<ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方や順序、具体例の取上げ方に対して自分の考えをもっている。 事例を扱った段落を中心に構成してあることに気づき、文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 	ワー クシ ート ワー クシ ート
					<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、解説書を書こうとしている。 	ノート 感想文

6 学年指導計画（全 10 時間扱い）

次	学 習 内 容	評 価				
		関 意	読 む	言 語	評価規準	評価方法
一 次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 「イースター島に森林がなくなった理由」「マンモスが絶滅した理由」について知っていることを話し合う。 				<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えや書きぶりをとらえながら，自分の考えを明らかにして学習を進めている。 	観察 発言
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「なぜ」「なぜ」がスッキリするか考え、「八幡小学校版・おすすめ説明文のポイント」をまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「イースター島にはなぜ森林がないのか」「マンモス絶滅のなぜ」を読んで，なぜの答えが納得できるかどうかを考え，分かりやすい説明文の条件をまとめていくという学習計画を立てる。 					
二 次 (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「イースター島にはなぜ森林がないのか」「マンモス絶滅のなぜ」を読んで，それぞれのおすすめポイントを話し合う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成，表現の工夫をとらえ，自分の考えをもち交流する。 「おすすめポイント」として分かりやすい説明文の条件をまとめる。 筆者の主張と本論が結びついているか考える。 本時 5 / 5 				<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を的確に押さえ，筆者の意見や述べ方に対して自分の考えをもちながら読んでいる。 自分の考えを明確に表現するためのさまざまな段落の組み立てを理解している。 	ワークシ ート 発言
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分かりにくいところは，書き直したり書き加えたりしてみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> こう書けばいい，自分ならこう書くという意見を交流し，書き加えてみよう。 					
三 次 (2)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分かりにくいところは，書き直したり書き加えたりしてみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> こう書けばいい，自分ならこう書くという意見を交流し，書き加えてみよう。 				<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の組み立ての効果を考え，説明文のつけ加えを書いている。 	ワークシ ート 発言
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いくつかの説明文を読んで分かりやすい説明文の条件をまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を用意し，いくつかの説明文を読み，どんな説明文が分かりやすいかまとめる。 八幡小学校版・おすすめポイントとしてまとめ低学年に伝える。 					
四 次 (2)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> いくつかの説明文を読んで分かりやすい説明文の条件をまとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を用意し，いくつかの説明文を読み，どんな説明文が分かりやすいかまとめる。 八幡小学校版・おすすめポイントとしてまとめ低学年に伝える。 				<ul style="list-style-type: none"> どんな説明文が分かりやすいか自分の考えを明らかにしている。 自分の考えをもって意欲的にまとめている。 	ワークシ ート

8 本時案

授業のキーポイント (5 学年)

説明文の文章構成・事例の挙げ方に視点を当て、自分の考えをもつ授業を提案します。

(1) 本時の目標

筆者の論理展開について自分の考えをもつことができる。 (「C読むこと」E)

(6 学年)

説明文の結論部分を提示し、具体例とのつながりを考えることで論理展開に対して自分の考えをもつ授業を提案します。

筆者の主張と本論とのつながりをとらえ、論理展開に対して自分の考えをもつことができる。

(「C読むこと」E)

(2) 展開 (5 学年)

(6 学年)

評価規準 (評価方法)	指導上の留意点	学習活動	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
	学習の視点をはっきりさせる。	1. 本時の学習を確認する。	1. 本時の学習を確認する。	学習の視点をはっきりさせる。	
	<p>文章構成に対する自分の考えを解説書に書くために、分かりやすいところ、分かりにくいところをまとめよう。</p>		<p>結論と本論がすっきりつながっているかどうか考えよう。</p>		
	自分の考えの根拠をはっきりと発言させる。	2. 文章構成に対する自分の考えを交流する。	2. 結論部分があることを知り、筆者の主張をとらえる。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事実・理由・具体例という説明の順序が分かりやすい。 ・体形・体格・毛皮という体の外の仕組みだけでなく体内の仕組みも書いてあって分かりやすい。 ・寒いところと暑いところが対比してあって分かりやすい。 ・動物のいろいろな体の仕組みが「最高の傑作」という筆者の意見につながっている。 ・具体例のあげ方が分かりにくいところがある。 ・毛皮の説明は寒いところでも暑いところでも身を守っているということが書いてある。 		<p>「イースター島にはなぜ森林がないのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張は大切なことだ。結論の書き方があいまいな書き方になっている。原因からはつながらないところもある。 「マンモス絶滅のなぞ」 ・マンモスが絶滅した理由は分かったが、本論とつながっていない。結論の書き方があいまいな書き方になっている。主張がはっきりしない。 		
筆者の論理展開について自分の考えをもち、「解説書」に書いている。 (ワークシート・発言)	友だちの考えも参考にしながら自分の考えをまとめて、解説書に書き加えさせる。	3. 分かりやすいところ、分かりにくいところをまとめて、解説書に書く。	3. 筆者の主張が納得できるか、自分の考えをもち交流する。	本論の説明と結論とがつながっていないことに気付かせ補足させる。	結論と本論を結び付けて、論理展開について自分の考えをもちまとめている。 (ワークシート・発言)
			4. 本論と結論のつながりについてまとめ、分かりやすい説明文の条件に加える。	結論が曖昧では読者は納得できないので、筆者の主張がはっきりした説明文が分かりやすいことをつかませる。	

(3) 評価規準・Aの判断基準

(5学年)

評価規準	Aの判断基準
筆者の論理展開について自分の考えをもち、「解説書」に書いている。	筆者の論理展開について評価的，批判的な自分の考えをもち、「解説書」に書いている。

(6学年)

評価規準	Aの判断基準
結論と本論を結び付けて，論理展開について自分の考えをもちまとめている。	二つの説明文を比べて，論理展開に対して自分の考えをもちまとめている。